

平成29年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

I. 平成 29 年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、これまで多摩地域の美術・歴史を応援することを使命として事業を行ってきましたが、地域文化に対して「更なる貢献」を果たすべく、そのための新たな一歩として「中期 3 ヶ年計画」を昨年度策定しました。

この中期計画の作成に当っては、当財団の目的である「多摩地域の歴史・美術の振興に寄与すること」を中心に据え、現状の分析・検討から課題を明確にし、その改善を含む形で今後 3 年間に渡って取り組む事業項目を定めました。

公 1（美術館・ギャラリーの運営事業）では、①展覧会の充実、②作家の支援、③地域における美術教育への貢献、④情報発信、を主たる事業項目としました。また、公 2（『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業）では、①『多摩のあゆみ』の一層の充実、②財団所蔵資料の公開、③人的ネットワークの拡充、を主たる事業項目としました。更に、法人全体としては、当財団の実施事業に対する支援者の組織化を検討課題としています。

この平成 29 年度の事業計画は、今後 3 年間で中期計画を達成するために初年度で実施すべき事業を織り込んだ形で年度内実施の事業項目を定めています。

当財団は、地域の皆様から寄せられた多大なご支持、ご支援に対し応えるため従前にも増して事業の公益性を高め、多摩地域の文化発展に貢献することに努めてまいります。

II. 公益目的事業

当財団の公益事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公 1. 美術館・ギャラリーの運営事業（以下「美術」という。）

公 2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（以下「歴史」という。）

1. 美術（公 1）

（1）企画展覧会の開催

① たましん歴史・美術館

平成 29 年度は、4 会期の美術展を開催する。

「小貫政之助展」	3 月 21 日(火)～6 月 25 日(日)開館日数 80 日
「五感でみるてんらんかい」	7 月 11 日(火)～9 月 17 日(日)開館日数 59 日
「東洋古陶磁展」併設たましんコレクション絵画展	10 月 3 日(火)～11 月 12 日(日)開館日数 35 日
「たましんコレクション展（前期／後期）」	30 年 1 月 6 日(土)～3 月 4 日(日)開館日数 49 日
※なお、11 月 28 日(火)～12 月 10 日(日)は武蔵野文化協会 100 周年記念展を開催します。	

② 御岳美術館

【前期】

「あなただけの風景」

3月25日(土)～11月26日(日)開館日数 212 日

【後期】

「武者小路実篤と白樺派の画家たち」(仮題) 30年1月6日(土)～5月13日(日)開館日数 110 日

(2) たましんギャラリーの運営

① ギャラリーでの展覧会開催

多摩で活動している作家やグループに展覧会場として無償で提供します。

平成29年度は24会期の展示を予定しており、詳細は以下のとおりです。

1. 村田幽玄の世界展	3月30日(木)～4月11日(火)
2. 富永之廣展	4月13日(木)～4月25日(火)
3. 涌田利之・美江作品展	5月11日(木)～5月23日(火)
4. 松山俊彦展	5月25日(木)～6月6日(火)
5. 小松欽展	6月8日(木)～6月20日(火)
6. 河口聖展	6月22日(木)～7月4日(火)
7. 橋本直一88展	7月6日(木)～7月18日(火)
8. 池山れい展	7月20日(木)～8月1日(火)
9. 田中秀樹展	8月3日(木)～8月15日(火)
10. 大山学 MAQUNA 展	8月17日(木)～8月29日(火)
11. 廣瀬晴美展	8月31日(木)～9月12日(火)
12. 原田丕展	9月14日(木)～9月26日(火)
13. 坂本龍幸展	9月28日(木)～10月10日(火)
14. 武蔵野アートプロジェクト宮下泉展	10月12日(木)～10月24日(火)
15. 武蔵野アートプロジェクト清田悠紀子展	10月26日(木)～11月7日(火)
16. 武蔵野アートプロジェクト立尾美寿紀展	11月9日(木)～11月21日(火)
17. 武蔵野アートプロジェクト柴田俊明展	11月23日(木・祝)～12月5日(火)
18. 湯浅由美子展	12月7日(木)～12月19日(火)
19. 三多摩美術家連盟展	30年1月11日(土)～1月23日(火)
20. 三多摩美術家連盟展	1月25日(木)～2月6日(火)
21. 財団コレクション展	2月8日(木)～2月20日(火)
22. 財団コレクション展	2月22日(木)～3月6日(火)
23. 財団コレクション展	3月8日(木)～3月20日(火)
24. 未定	3月22日(木)～4月3日(火)

② たましんギャラリー利用の活性化策

ア) 若手作家の招致

28 年度に開催した「たましん次世代支援プロジェクト」の次年度開催に向けての準備をします。若手作家の発掘や企画内容の検討を行います。

イ) 多摩にある美術大学との連携

多摩地域にある美術大学（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学）との連携を通して利用する作家を発掘します。今年度は、女子美術大学洋画研究室准教授の広瀬晴美氏、武蔵野美術大学洋画研究室推薦の坂本龍幸氏にたましんギャラリーをご利用いただきます。

引続き各美術大学からのギャラリー利用者の誘致を図るほか、次年度以降の美術大学卒業展への利用開放の準備をします。

(3) 作家研究・データベース構築

多摩で活躍し、当財団とも縁の深い「倉田三郎」「佐藤多持」「関頑亭」等について、研究発表の場として将来の企画展開催を視野に、作品や資料を調査等作家の研究を行います。

また、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築し、将来の情報発信の基礎づくりを行います。

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

たましん歴史・美術館、御岳美術館において、展覧会開催期間中に、当財団の学芸員が、展示作品の解説をします。いずれもギャラリートークへの参加料は無料です。

【たましん歴史・美術館】

「小貫政之助展」	4 月 21 日(金)・5 月 26 日(金)
「五感でみるてんらんかい」	7 月 15 日(土) : 小学 1～3 年生対象
	7 月 22 日(土) : 小学 4～6 年生対象
	8 月 26 日(土) : 中学生対象
「東洋古陶磁展」	10 月 19 日(木)
「たましんコレクション展（前期／後期）」	平成 30 年 1 月 19 日(金)
	2 月 23 日(金)

【御岳美術館】

「あなただけの風景」	5 月 13 日(土)・10 月 14 日(土)
「武者小路実篤と白樺派の画家たち(仮)」	平成 30 年 4 月 14 日(土)
	5 月 12 日(土)

② ワークショップの開催

たましん歴史・美術館で開催する「五感でみるてらんかい」の開催に合せ、子供たちに美術に触れてもらう機会として、ワークショップ（講師・作家などが素材や方法を紹介し、そこから参加者ひとりひとりが造形や鑑賞の手法を愉しみながら身につけることです。）を開催します。講師と大学生サポーターによる体感型の作品鑑賞会です。

③ スケッチ講座

御岳美術館では、本年度も4月、8月、11月各2日、延べ6日を「スケッチの日」とし、来館者にスケッチを体験してもらうイベントを開催します。

参加費、画材は無料とし、また作品完成時に当財団学芸員が受講者にアドバイスをします。各回30名の参加を予定しています。

第1回	4月11日(火)・12日(水)	「桜の日」
第2回	8月19日(土)・20日(日)	「倉田三郎生誕記念日」
第3回	11月2日(木)・3日(金・祝日)	「開館記念日」

なお、御岳美術館では来館者にいつでもスケッチを楽しんでいただけるよう、常時スケッチ道具の無料貸出し、キャンバスボードの販売（1枚100円）を行います。

（5）地域との連携

たましん歴史・美術館、御岳美術館、たましんギャラリーを拠点とし、個々の特徴を活かしつつ、地域との連携を深めながら、さまざまな事業を行います。

① 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、（公財）くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、昨年度同様斉藤陽一氏を講師に迎え、今年度は「琳派」についての3回講座を予定しています。

② くにたちギャラリーネットワーク25周年事業

くにたちギャラリーネットワークは設立25周年を迎えることから、記念事業として以下の事業をおこないます。当財団もその一員として事業に参画します。

- ・国立市内の「ギャラリー」や「野外彫刻」を記した地図「くにたちアート散策」の再作成。（28年度中に完成の予定）
- ・国立市内の「ギャラリー」や「美術作品」等を紹介する小冊子を作成し、上記地図とセットで一般に配布します。

③ 地域との連携強化

地域の美術館や美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。

(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等

① 広報手段の拡充

各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシ等の送付、財団及び美術館案内等ホームページに展覧会情報を公開することに加え、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページ、SNS等の活用を行います。

② 配布先拡大と効果の検証

ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加または変更します。また効果の検証を行い、逐次改善を図ります。

③ 収蔵環境の整備

所蔵品の管理を徹底するために、展示、収蔵環境の改善を図ります。今年度は展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、収蔵庫については庫内を整備し、文化財 IPM（総合的有害生物管理）を採り入れ定期的な害虫測定を行います。

④ 美術資料室の運営

多摩地域の美術に関する資料、作品収蔵作家の資料を引続き収集します。

2. 歴史（公2）

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

① 『多摩のあゆみ』の定例発行

各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたる地域の研究者の調査・研究の成果を掲載します。平成 29 年度の特集テーマは、166 号（5 月発行）「郊外行楽地と多摩」（仮題）、167 号（8 月発行）「多摩の化石」（仮題）、168 号（11 月発行）「江戸時代の日記を紐解く」（仮題）、169 号（平成 30 年 2 月発行）「デジタル地図でみる多摩の歴史」（仮題）です。

各号とも 14,000 部を印刷・発行します。歴史資料室受付及び当財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望の方には定期送付をしています（送料は希望者負担）。また、多摩地域 30 市町村の公立図書館・博物館等に毎号贈呈しており、これら公的機関でも閲覧できるようにしています。

② 誌面の更新

166号（5月発行）より「多摩の金融史」の連載を開始します。現在、多摩金融史研究会において地域金融の歴史を追究しており、その論考を順次掲載します。

（2）歴史資料室の運営

①歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

②国土地理院発行の多色刷地形図の収集

近年、一般財団法人日本地図センターの Web サイトが充実してきて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図、1万分1地形図、5万分1地形図、合計175点を今年度より3ヶ年計画で収集します。平成29年度には2万5千分1地形図60点を入手予定です。平成30年度には2万5千分1地形図41点と5万分1地形図25点、平成31年度には1万分1地形図49点を入手する予定です。

（3）多摩の歴史講座

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。今年度で21回目を迎え、テーマとして中世の武蔵武士団を予定しています。定員110名、受講料は無料です。

（4）地域とのネットワーク強化

今年度は、国分寺市に移転した東京都立多摩図書館との連携をはじめ、市史編纂等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

（5）広報・普及活動

①『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また「多摩の歴史講座」については、財団ホームページと『多摩のあゆみ』、及び共催先の（公財）東京市町村自治調査会ホームページと機関誌において募集告知をします。

②『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』創刊号から第100号までをデジタル化して、ADEAC（株）のデジタルアーカイブシステムに全国50機関（図書館・博物館）とともに公開して、誰でも閲覧できるようにします。

Ⅲ. 収益事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業（収 1）

（1）物品販売事業

たましん歴史・美術館ではオリジナルの絵はがきを販売します。また、御岳美術館では、絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。

（2）喫茶事業

御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を 300 円で提供します。

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款第4条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号)

(予算額 8,270 千円)

(1)企画展覧会

①たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明	(千円)
1	小貫政之助展	自主	3月21日(火)～ 6月25日(日)	80日	たましんコレクションから、小貫政之助(1925－1988)の油彩画「自画像」を中心に、代表的なモチーフである女を描いた人物画、抽象画、版画約24点と関連資料によって、孤高の画業をご紹介します。 4月21日(金)5月26日(金)ギャラリートーク実施予定。	<u>3,297</u>
2	五感でみるてんらんかい	自主	7月11日(火)～ 9月17日(日)	59日	人にはモノを「みる」「きく」「さわる」「におう」「あじわう」という五つの感覚があります。この展覧会では五感をフル回転して絵画や版画、彫刻、古陶磁などの作品に親しみます。子どもや視覚障がいの方向けですが大人も楽しむことができます。 7月15日(土)7月22日(土)8月26日(土)ギャラリートーク実施予定。 8月3日(木)ワークショップ実施予定。	
3	東洋古陶磁展 ／併設 たましんコレクション絵画展	自主	10月3日(火)～ 11月12日(日)	35日	たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示します。たましんコレクションの絵画作品を併設展示します。 10月19日(木)ギャラリートーク実施予定。	
4	たましんコレクション展(前期／後期)	自主	平成30年 1月6日(土)～ 3月4日(日)	49日	たましんコレクションから、絵画、彫刻、工芸の作品を展示します。 1月19日(金)、2月23日(金)ギャラリートーク実施予定。	

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画				計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	開催 日数	事業内容及び説明	(千円)
1	【前期】 あなただけの風景	自主	3月25日(土)～ 11月26日(日)	212 日	たましんコレクションから、「あなただけの風景」と題し、明治期から昭和期にかけての風景画を中心に展示します。倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、多摩の風景を展示します。常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻・絵画作品を展示します。	1,939
2	【後期】 武者小路実篤と白樺派の画家たち (仮題)	自主	平成30年 1月6日(土)～ 5月13日(日)	110 日 (予定)	たましんコレクションから、「武者小路実篤と白樺派の画家たち(仮)」と題し、明治期から昭和期にかけての作品を展示します。倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、フランスの風景を展示します。常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻・絵画作品を展示します。	

(2) たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	ギャラリーでの展覧会開催	自主	通年土・日・祝日開廊	多摩地域で活動している作家やグループに展覧会場として、無償で提供。 今年度は24会期の展示を予定しています。	2,124
②たましんギャラリー利用の活性化策					
1	若手作家の招致	自主	通年	28年度に初めて取組んだ「たましん次世代支援プロジェクト」の次年度開催に向けての準備をします。若手作家の発掘や企画内容の検討を行います。	
2	多摩にある美術大学との連携	自主	通年	多摩地域にある美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)との連携を図り、ギャラリーを利用する作家を発掘します。今年度は、女子美術大学洋画研究室准教授の広瀬晴美氏、武蔵野美術大学洋画研究室推薦の坂本龍幸氏にたましんギャラリーをご利用いただきます。 引続き各美術大学からのギャラリー利用者の誘致を図るほか、次年度以降の美術大学卒業展への利用開放を準備します。	

(3) 作家研究・データベース構築

計画事業 通し番号	計 画				計 画
	事 業 名	自主・共催	実施期間		事業内容及び説明
1	作家研究・データベース構築	自主	通年		多摩で活躍し、当財団とも縁の深い「倉田三郎」「佐藤多持」「関頑亭」等について、将来の研究発表の場として企画展開催を視野に、作品や資料を調査、作家の研究を行います。また、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築し、将来の情報発信の基礎づくりを行います。

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

計画事業 通し番号	計		画	計	画	予算額	
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		(千円)	
1	【たましん歴史・美術館】 「小貫政之助展」 「五感でみるてらんかい」 「東洋古陶磁展」 「たましんコレクション展」 (前期／後期)	自主	4月21日(金)・5月26日(金) 7月15日(土)： 小学1～3年生対象 7月22日(土)： 小学4～6年生対象 8月26日(土)： 中学生対象 10月19日(木) 平成30年1月19日(金)・2月23日(金)	たましん歴史・美術館において、企画展にあわせてギャラリートークを行います。 (各日とも14:00から開催)		230	
	【御岳美術館】 【前期】「あなただけの風景」 【後期】 武者小路実篤と白樺派の 画家たち(仮題)	自主	5月13日(土)・10月14日(土) 平成30年 4月 14日(土)・5月12日(土)	御岳美術館において、展示にあわせてギャラリートークを行います。 (各日とも 11:00と13:00からの2回開催)			
②ワークショップの開催							
1	【たましん歴史・美術館】 ワークショップの開催	自主	8月3日(木)	たましん歴史・美術館で開催する「五感でみるてらんかい」の開催に合せ、子供たちに美術に触れてもらう機会として、ワークショップ(講師・作家などが素材や方法を紹介し、そこから参加者ひとりひとりが造形や鑑賞の手法を愉しみながら身につけることです。)を開催します。講師と大学生サポーターによる体感型の作品鑑賞会です。 13:30～15:30 *13時受付 事前申込制10名 講師:井上尚子(女子美術大学講師) 会場:展示室内及び3階ラウンジ ※小学3年生以上対象、10歳以下は保護者同伴可			
③スケッチ講座							
1	【御岳美術館】 スケッチ講座	自主	「桜の日」 4月11日(火)・12日(水) 「倉田三郎生誕記念日」 8月19日(土)・20日(日) 「開館記念日」 11月2日(木)・3日(金・祝日)	「スケッチの日」として、御岳美術館で年間3回(各回2日間)のスケッチ体験講座を行います。参加費は無料で、当財団の学芸員がワンポイントアドバイスも行います。毎回30名の参加を予定しています。			

(5) 地域との連携

① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	美術講演会	共催	11月8日(水) ・15日(水)・22日(水)	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、「琳派」についての3回講座を予定しています。 講師 斎藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人員 毎回70名(延べ210名) 受講料 無料	200
②くにたちギャラリーネットワーク25周年事業					
1	小冊子の作成	共催	8月(予定)	くにたちギャラリーネットワークは設立25周年を迎えることから、記念事業として国立市内の「ギャラリー」や「野外彫刻」を記した地図「くにたちアート散策」を再作成し(28年度中に完成予定)、別途その案内となる小冊子を作成して、広く一般に配布します。	
③地域連携企画					
1	地域との連携強化	自主	通年	地域の美術館や美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。今年度は、各美術館学芸員との交流や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。	

(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	広報手段の拡充	自主	通年	各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、財団及び美術館案内等ホームページに展覧会情報を公開するほか、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページ、SNS等の活用を行います。	480
2	配布先拡大と効果の検証	自主	通年	ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加または変更します。また効果の検証を行い、逐次改善を図ります。	
3	収蔵環境の整備	自主	通年	所蔵品の管理を徹底するために、展示、収蔵環境の改善を図ります。今年度は展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、収蔵庫については庫内を整備し、文化財IPM(総合的有害生物管理)を採り入れ定期的な害虫測定を行います。	
4	美術資料室の運営	自主	通年	多摩地域の美術に関する資料、作品収蔵作家の資料を引き続き収集します。	

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款第4条第1項第2号、第3号、第4号、第8号)

(予算額 12,790 千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

①『多摩のあゆみ』の定例発行

計画事業 通し番号	計 画		計 画		予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	166号 「郊外行楽地と多摩」(仮題)	自主	5月	昭和初期、東京近郊に位置する多摩地域には郊外行楽地が誕生していきました。本号では、戦前から戦後にかけて形成・発展していった各地の郊外行楽地を取り上げます。	9,445
2	167号 「多摩の化石」(仮題)	自主	8月	近年、多摩川流域ではゾウや鳥の化石だけでなく、その足跡や植物の化石の発掘が見られます。その研究を踏まえ、数十万年前の多摩の動植物の生態を紹介します。	
3	168号 「江戸時代の日記を紐解く」(仮題)	自主	11月	江戸時代の様相を記した日記は、長年にわたって継続的に刊行されています。本号では、村の陰陽師や伊勢参宮、八王子千人同心の上洛日記など、日記の多彩な内容を紹介します。	
4	169号 「デジタル地図でみる多摩の歴史」 (仮題)	自主	平成30年2月	Google earthに代表されるデジタル地図に、考古遺物の分布などの歴史事象を地図化し、時代をおっての変化や環境との関わりを考察する研究が増えています。130号特集に引き続き、デジタル地図による多摩の歴史研究の可能性を紹介します。	
② 誌面の更新					
1	誌面の更新	自主	5月	166号(5月発行)より「多摩の金融史」の連載を開始します。現在、多摩金融史研究会において地域金融の歴史を追究しており、その論考を順次掲載します。	

(2)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料ごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	1,360
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	通年	近年、一般財団法人日本地図センターのWebサイトが充実してきて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図をはじめ、1万分1地形図と5万分1地形図、合計175点を今年度より3ヶ年計画で収集します。今年度については2万5千分1地形図60点を入手予定です。	

(3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。今年度で21回目を迎え、テーマとして中世の武蔵武士団を予定しています。 会場 多摩信用金庫府中支店4階会議室 定員 110名 受講料 無料	485

(4)地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			計 画	
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	今年度は国分寺市に移転した東京都立多摩図書館との連携をはじめ、市史編纂等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。	

(5)広報・普及活動

①『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	200

②『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化

1	『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』創刊号から第100号までをデジタル化して、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国50機関(図書館・博物館など)とともに公開して、誰でも閲覧できるようにします。	1,300
---	---------------------	----	----	---	-------

収益目的事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 150 千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。御岳美術館では、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。	<u>120</u>

(2) 喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	喫茶事業	自主	通年	御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供します。	<u>30</u>

IV. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第9号）

（1）理事、監事及び評議員の任期

- ①評議員 平成28年6月17日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ②理事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ③監事 平成28年6月17日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

（2）理事会等の開催

- ①理事会 年3回
- ②評議員会 年2回
- ③決算監査 年1回

平成29年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

平成29年度収支予算書(正味財産増減ベース)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	平成29年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	平成28年度 予算額(ロ)	増減 (イ)－(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	1,240,000	0	0	1,240,000	1,240,000	0	0	0	1,540,000	△ 300,000
基本財産運用益	1,240,000			1,240,000	1,240,000		0		1,540,000	△ 300,000
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	480,000	450,000	0	0	450,000	30,000	30,000	0	520,000	△ 40,000
固定資産受贈益	480,000	450,000			450,000	30,000	30,000		520,000	△ 40,000
事業収益	1,930,000	1,430,000	50,000	0	1,480,000	450,000	450,000	0	2,300,000	△ 370,000
入館料収益	1,400,000	1,400,000			1,400,000		0		1,600,000	△ 200,000
図録販売収益	30,000	30,000			30,000		0		100,000	△ 70,000
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		150,000	△ 100,000
喫茶事業収益	100,000				0	100,000	100,000		100,000	0
物品販売収益	350,000				0	350,000	350,000		350,000	0
受取寄付金	60,000,000	0	0	55,500,000	55,500,000	0	0	4,500,000	60,000,000	0
受取寄付金	60,000,000			55,500,000	55,500,000		0	4,500,000	60,000,000	0
雑収益	40,000	0	0	40,000	40,000	0	0	0	40,000	0
雑収益	40,000			40,000	40,000		0		40,000	0
経常収益計(A)	63,700,000	1,880,000	50,000	56,790,000	58,720,000	480,000	480,000	4,500,000	64,410,000	△ 710,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	63,540,000	31,550,000	27,610,000	0	59,160,000	403,000	403,000	3,977,000	64,740,000	△ 1,200,000
売上原価	80,000	5,000	45,000	0	50,000	30,000	30,000	0	80,000	0
役員報酬	550,000	0	0	0	0	0	0	550,000	400,000	150,000
給料手当	16,070,000	6,690,000	8,900,000	0	15,590,000	0	0	480,000	20,220,000	△ 4,150,000
臨時雇賃金	7,620,000	5,890,000	1,630,000	0	7,520,000	100,000	100,000	0	6,440,000	1,180,000
賞与引当金繰入	980,000	540,000	440,000	0	980,000	0	0	0	1,250,000	△ 270,000
退職給付費用	340,000	50,000	290,000	0	340,000	0	0	0	440,000	△ 100,000
法定福利費	3,010,000	1,300,000	1,610,000	0	2,910,000	0	0	100,000	3,555,000	△ 545,000
福利厚生費	490,000	200,000	140,000	0	340,000	0	0	150,000	540,000	△ 50,000
旅費交通費	1,190,000	760,000	330,000	0	1,090,000	0	0	100,000	990,000	200,000
通信運搬費	2,320,000	900,000	1,110,000	0	2,010,000	10,000	10,000	300,000	2,150,000	170,000
減価償却費	1,110,000	780,000	225,000	0	1,005,000	30,000	30,000	75,000	1,250,000	△ 140,000
消耗什器備品費	350,000	125,000	125,000	0	250,000	0	0	100,000	100,000	250,000
消耗品費	1,040,000	430,000	390,000	0	820,000	10,000	10,000	210,000	960,000	80,000
修繕費	100,000	30,000	30,000	0	60,000	0	0	40,000	100,000	0
印刷製本費	10,110,000	2,260,000	7,800,000	0	10,060,000	0	0	50,000	8,740,000	1,370,000
燃料費	50,000	20,000	15,000	0	35,000	0	0	15,000	45,000	5,000
光熱水料費	2,250,000	1,940,000	210,000	0	2,150,000	28,000	28,000	72,000	2,245,000	5,000
賃借料	2,630,000	2,210,000	295,000	0	2,505,000	20,000	20,000	105,000	2,605,000	25,000
保険料	1,550,000	1,505,000	30,000	0	1,535,000	0	0	15,000	1,540,000	10,000
諸謝金	870,000	50,000	820,000	0	870,000	0	0	0	820,000	50,000
保守管理費	1,860,000	1,550,000	210,000	0	1,760,000	25,000	25,000	75,000	1,850,000	10,000
会議費	450,000	25,000	25,000	0	50,000	0	0	400,000	350,000	100,000
支払負担金	200,000	200,000	0	0	200,000	0	0	0	200,000	0
図書費	470,000	30,000	430,000	0	460,000	0	0	10,000	310,000	160,000
委託費	6,360,000	3,750,000	2,260,000	0	6,010,000	0	0	350,000	4,630,000	1,730,000
研修費	180,000	100,000	30,000	0	130,000	0	0	50,000	100,000	80,000
宣伝費	30,000	30,000	0	0	30,000	0	0	0	30,000	0
仕入費	150,000	0	0	0	0	150,000	150,000	0	150,000	0
諸会費	730,000	160,000	200,000	0	360,000	0	0	370,000	730,000	0
交際費	250,000	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000	0
租税公課	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
雑費	50,000	20,000	20,000	0	40,000	0	0	10,000	50,000	0
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,520,000	△ 1,520,000
経常費用計(B)	63,540,000	31,550,000	27,610,000	0	59,160,000	403,000	403,000	3,977,000	64,740,000	△ 1,200,000
当期経常増減の部(A)－(B)	160,000	△ 29,670,000	△ 27,560,000	56,790,000	△ 440,000	77,000	77,000	523,000	△ 330,000	490,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)－(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	25,046	25,046	△ 25,046	△ 25,046	0	0	0
当期一般正味財産増減額	160,000	△ 29,670,000	△ 27,560,000	56,815,046	△ 414,954	51,954	51,954	523,000	△ 330,000	490,000
一般正味財産期首残高	50,205,269	△ 117,977,027	△ 148,396,851	305,175,018	38,801,140	2,242,090	2,242,090	9,162,039	51,977,455	△ 1,772,186
一般正味財産期末残高(E)	50,365,269	△ 147,647,027	△ 175,956,851	361,990,064	38,386,186	2,294,044	2,294,044	9,685,039	51,647,455	△ 1,282,186
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	△ 480,000	△ 450,000	0	0	△ 450,000	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 520,000	40,000
当期指定正味財産増減額	△ 480,000	△ 450,000	0	0	△ 450,000	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 520,000	40,000
指定正味財産期首残高	845,152,737	543,596,658	0	300,000,000	843,596,658	1,556,079	1,556,079	0	845,733,869	△ 581,132
指定正味財産期末残高(F)	844,672,737	543,146,658	0	300,000,000	843,146,658	1,526,079	1,526,079	0	845,213,869	△ 541,132
III 正味財産期末残高(E)+(F)	895,038,006	395,499,631	△ 175,956,851	661,990,064	881,532,844	3,820,123	3,820,123	9,685,039	896,861,324	△ 1,823,318

平成29年度

事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

目 次

1. 事業の概要	1
2. 各種事業に関する報告	3
公益目的事業	3
1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業	3
(1) 企画展覧会	3
① たましん歴史・美術館	3
② 御岳美術館	4
(2) たましんギャラリー	4
(3) 作家研究・データベース構築	4
(4) 美術講座・美術教育	5
(5) 地域との連携	6
(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等	6
(7) 事業計画外の活動	7
2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業	8
(1) 『多摩のあゆみ』の刊行	8
(2) 歴史資料室の運営	9
(3) 多摩の歴史講座	9
(4) 地域とのネットワーク強化	10
(5) 広報・普及活動	10
収益事業	11
3. 収1 物品販売及び喫茶事業	11
(1) 物品販売事業	11
(2) 喫茶事業	11
3. 管理	12
役員等及び役員会等に関する事項	12
1. 評議員、理事及び監事の名簿	12
2. 評議員会、理事会に関する事項	14
4. 附属明細書	16
1. たましん歴史・美術館実績一覧	16
2. 御岳美術館実績一覧	17
3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数	18
4. 職員に関する事項	19

1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団では、多摩地域で暮らす人々に美術・歴史を楽しんでもらうこと、またその制作・研究を行う方々を支援することを使命と考え、その具現化を図るために中期計画を策定しました。平成 29 年度はその 1 年目であり、それに相応しいと思われる事業を計画、実施してまいりました。

また事業計画に含まれない事業として、年央より多摩信用金庫本店新築に伴う「新」美術館設置に関する検討を開始しました。

(1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

「たましん歴史・美術館」では年度計画に沿って 4 会期の企画展を開催しました。今年度の入館者数は 3,793 人、前年度比▲4%と若干減少しましたが、秋季に他団体の記念展に会場を提供したことから開館日数が 9 日間減少しており、実質的には前年度からほぼ横這いといえます。なかでも春季開催の「小貫政之助展」、夏季開催の子ども向け展「五感でみるてんらんかい」は前年度同時期の実績を上回る入館者数で、大変盛況でした。

「御岳美術館」については 2 会期の開催で、前年度比 16%増の 2,151 人の入館者となりました。前年度のようなアクシデント（天候不順やクマの出没等）はありませんでしたが、本館を含め地域の集客力は依然低調であるといえます。

「たましんギャラリー」は、年度計画通り 24 会期の開催（うち 1 会期はキャンセルのため作家変更）となり、多摩で活動する数多くの作家にご利用いただきました。今年度は 40 歳代の作家や美術大学のグループ展といった、若手から実績のあるベテラン作家まで幅広くご利用いただいた点が特徴といえます。

美術に関するイベントのなかで、今年度初めて取組んだ「五感でみるてんらんかい」のワークショップには盲学校の生徒と晴眼者に参加いただき、一緒に美術を楽しむ試みを行いました。また、御岳美術館のスケッチの日には昨年を大幅に上回る 118 名の参加をいただきました。

地域との連携については、くにたちギャラリーネットワークの設立 25 周年記念事業として記念講演会や小冊子の発行を行い、また多摩地域、国立市の小・中学校美術・図工担当教師の会合に参加して交流を図るなど、積極的な取組みを行いました。

なお、「たましん歴史・美術館」については、上述のように武蔵野文化協会 100 周年記念展の会場として 11 月 28 日～12 月 10 日（12 日間）、ご利用いただきました。

(2) 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

『多摩のあゆみ』は年度計画通り 166 号から 169 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、166 号「郊外行楽地と多摩」、167 号「多摩の化石」、168 号「江戸時代の日記を紐解く」、169 号「デジタル地図でみる多摩の歴史」を取上げました。また 166 号より「多摩の金融史」の連載を開始し、多摩地域の金融に関する歴史について調査・研究をする多摩金融史調査会メンバーの論考を掲載しています。

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は第 21 回となり、今年度は「武蔵武士団の盛衰」をテーマに 5 回の連続講座を開催しました。100 名の募集に対し倍以上の応募があり、出席者数延べ 463 名（1 回平均 92.6 名）と大変盛況でした。

今年度からスタートした中期計画の事業項目である『多摩のあゆみ』のバックナンバーのデジタルアーカイブ化は、8 月末までに作業を完了し、予定通り 9 月より公開しました。また 3 ヶ年に亘って購入するとした「国土地理院発行の多色刷地形図」は、今年度分 60 点（多摩東部から中部の 2 万 5 千分の 1 地形図）を入手しました。

(3) その他

今年度の事業計画策定時には未定であった多摩信用金庫本店・本部棟の新築計画が進行し、当財団に対しても美術館開設に関する検討の依頼があり、10 月には金庫担当部署と合同で提言を行いました。

財団のシステムについては、LAN サーバーの容量が限界に近づいてきたため新しいものへ交換することとしたほか、昨今リスク管理が求められているサイバーセキュリティ対策として NTT 東日本の対策システムを導入しました。

2. 各種事業に関する報告

公益目的事業

1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業

(定款第4条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号)

(1)企画展覧会

① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	小貫政之助展—生きた時代の証言—	自主	3月21日(火)～ 6月25日(日)	たましんコレクションから、小貫政之助(1925—1988)の油彩画「自画像」を中心に、代表的なモチーフである女を描いた人物画、抽象画、版画28点と同時代に活躍した作家の作品14点、弟子である栗原一郎の作品3点と関連資料14点によって、小貫政之助の生きた時代の絵画表現と、孤高の画業を紹介しました。	233,400	1,202 (778)
2	五感でみるてらんかい	自主	7月11日(火)～ 9月17日(日)	子どもや視覚障がいの方への方向けの展覧会を開催しました。「みる」「きく」「さわる」「におう」「あじわう」という五つの感覚に注目した絵画や版画、彫刻、古陶磁などのたましんコレクション20点を紹介し、延べ30地域690校のうち、86校の小中学校の児童・生徒に親しんでいただきました。初の試みとして、8月3日(木)には作家の井上尚子氏を講師として招聘し、女子美術大学アートプロデュース学科3年生のボランティアによる鑑賞ワークショップを実施しました。実施に際し、感覚ブックやキット、ワークシートを作成しました。	63,000	1,387 (630)
3	東洋古陶磁展 【併設】たましんコレクション絵画展～日本画～	自主	10月3日(火)～ 11月12日(日)	日本、中国、朝鮮の古陶磁の中から伊万里・鍋島など日本古陶磁、越州窯・景德鎮など中国古陶磁、朝鮮王朝時代の朝鮮古陶磁、41点を紹介しました。また、たましんコレクションの中から日本画を中心に11点を併設展示しました。	33,100	503 (331)
4	たましんコレクション展(前期／後期)～色物語～	自主	平成30年 1月6日(土)～ 3月4日(日)	たましんコレクションから、油絵・日本画など平面作品を中心に、51作家の作品を前期・後期に分け68点展示しました。本展では、作品の「色」をテーマとし、作品のさまざまな様相のなかに見える、色の物語をお楽しみいただきました。	41,400	701 (414)
4会期 合計					370,900	3,793 (2,153)

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	【前期】 あなただけの風景 倉田三郎記念室 旅の素描－多摩－ 常設展示 「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」	自主	3月25日(土)～ 11月26日(日)	たましんコレクションから、「あなただけの風景」と題し、明治期から昭和期にかけての風景画を中心に展示しました。 それにあわせ、スケッチ道具の無料貸出を実施し、美術館周辺でスケッチをお楽しみいただきました。 常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻作品を展示しました。 また、倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、多摩の風景を展示し、スケッチする際の参考としてもご観賞いただきました。	584,200	1,952 (1,618)
2	【後期】 武者小路実篤と白樺派の画家たち 倉田三郎記念室 旅の素描－フランス－ 常設展示 「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」	自主	平成30年 1月 6日(土)～ 5月13日(日)	たましんコレクションから、「武者小路実篤と白樺派の画家たち」と題し、武者小路実篤の油絵、書画と、広義に白樺派と呼ばれる画家たちの作品21点について展覧しました。 常設展示では、新宿中村屋にゆかりのあった作家の彫刻作品を展示しました。 また、倉田三郎記念室では、旅先のスケッチから、フランスの風景を展示しました。	※平成30年 3月31日時点 63,000	※平成30年 3月31日時点 261 (208)
2会期 合計					647,200	2,213 (1,826)

(2)たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	入館者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明	
1	たましんギャラリー	自主	通年	多摩在住・在勤の作家やグループに展示会場を提供し、24会期の展示を行いました。	7,391

② たましんギャラリー利用の活性化策

1	若手作家の招致	自主	通年	美術大学との交流や、若手作家の展覧会を通じて作家へ積極的なアプローチを実施しました。 また、次回「たましん次世代支援プロジェクト」の準備として作家の個展の観賞・資料の収集など作家研究を行いました。
2	多摩にある美術大学との連携	自主	通年	多摩地域の美術大学・美術学校との交流・連携を通じて、新たな利用作家の発掘を進め、第11会期広瀬晴美展(女子美術大学准教授)、第13会期坂本龍幸展(武蔵野美術大学洋画研究室推薦)、第14会期～17会期武蔵野アートプロジェクト展(武蔵野美術学園講師による連続個展)、第22会期女子美術大学部3年生による選抜展の開催に加え、若手作家の新規利用で第8会期池山れい展、第21会期宏二郎展を開催しました。

(3)作家研究・データベース構築

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	作家研究・データベース構築	自主	通年	「たましん歴史・美術館」での企画展に向けて実地調査を含めた作家の調査・研究を実施しました。 今年度は、平成29年度春季に開催した「小貴政之助」、30年度春季に開催の「関碩亭」、平成31年度春季に開催予定の「佐藤多持」を対象としました。 また、所蔵品に付属する情報を収納し、所蔵品データベースの構築を進めました。

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明	
1	【たましん歴史・美術館】 「小貴政之助展―生きた時代の証言―」 「五感でみるてらんかい」 「東洋古陶磁展」 「たましんコレクション展(前期／後期)」	自主	4月21日(金)	「小貴政之助展―生きた時代の証言―」の作品解説	15
			5月26日(金)		12
			7月15日(土)	「五感でみるてらんかい」の作品解説(小学校1～3年生対象)	9
			7月22日(土)	「五感でみるてらんかい」の作品解説(小学校4～6年生対象)	17
			8月26日(土)	「五感でみるてらんかい」の作品解説(中学生対象)	8
			10月19日(木)	「東洋古陶磁展」の作品解説	7
			平成30年 1月19日(金) 2月23日(金)	「たましんコレクション展(前期／後期)」の作品解説	7
	【御岳美術館】 【前期】「あなただけの風景」、 倉田三郎記念室 旅の素描―多摩― 【後期】「武者小路実篤と白樺派の画家たち」 倉田三郎記念室 旅の素描―フランス―	自主	5月13日(土)	【前期】「あなただけの風景」、倉田三郎記念室 旅の素描―多摩―の作品解説	6
			10月14日(土)		0
			平成30年 4月14日(土) 5月12日(土)	【後期】「武者小路実篤と白樺派の画家たち」 倉田三郎記念室 旅の素描―フランス―の作品解説 (平成30年度実施)	2
					6

② ワークショップの開催

1	【たましん歴史・美術館】 「五感でみるてらんかい」ワークショップ 事前申込制 20名 特別協力:古屋弥生氏、山中由美子氏 (東京都立八王子盲学校教諭) 協力:東京都立八王子盲学校	自主	8月3日(木)	たましん歴史・美術館で開催した「五感でみるてらんかい」に合せ、視覚障がい者と晴眼者がコミュニケーションを育みながら鑑賞をたのしむワークショップ(*)を開催しました。このワークショップは、「感覚ブック」を用いながら、グループで絵画作品を触覚と匂いから「みる」ことにより、より開かれた作品鑑賞を行う試みでした。参加者は小学生から高校生、大学生、30～50代と世代間の交流も行われる好機となりました。 (*)講師・作家などが素材や方法を紹介し、そこから参加者ひとりひとりが造形や鑑賞の手法を愉しみながら身につける講座手法のひとつ。 講師 井上尚子 (アーティスト、愛知県立芸術大学非常勤講師) スタッフ 飯島、遠藤、島田、林 (女子美術大学芸術学科アートプロデュース表現領域3年生) 会場 展示室内及び3階ラウンジ 時間 午後1時30分～午後3時30分 対象 小学3年生以上対象、10歳以下は保護者同伴可 参加費 300円	20
---	---	----	---------	---	----

③ スケッチ講座

4	【御岳美術館】 スケッチ講座	自主	桜の日祭 4月11日(火) ・12日(水)	本取組は、開館10周年を記念してはじまり、来館者を対象に、4、8、11月の年3回実施している事業です。 今年度も、御岳溪谷の四季折々の風景とスケッチをお楽しみいただきました。 受付 午前10時～午後3時 参加費 入館料のみで参加可 画材 無料貸し出し	27
			倉田三郎生誕祭 8月19日(土) 20日(日)		50
			開館記念祭 11月2日(木・祝) ・3日(金・祝)		41

(5) 地域との連携

① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	美術講演会 (公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、 くにたちギャラリーネットワークとの共催事業	共催	10月15日(土)	第1回 「琳派の美学(1)～俵屋宗達・本阿弥光悦～」 第2回 「琳派の美学(2)～尾形光琳・尾形乾山～」 第3回 「琳派の美学(3)～酒井抱一・鈴木其一……そして現代につながる琳派」 講師 斎藤陽一 (美術ジャーナリスト、美術史学会会員、嘉悦大学客員教授) 会場 国立さくらホール 時間 午後2時～	70
			10月28日(土)		79
			11月11日(土)		75

② くにとちギャラリーネットワーク25周年事業

1	小冊子の作成	共催	平成30年 1月31日(火) 発行	くにとちギャラリーネットワークの設立25周年記念事業として、国立市内の「ギャラリー」や「野外彫刻」を記した地図『くにとちアート散策』を再作成、別途その案内となる小冊子『Kunitachi Gallery Guide』3,000部を作成しました。平成30年1月より広く一般に配布を開始し、多くの方にご活用いただきました。
---	--------	----	-------------------------	---

③ 地域連携企画

1	地域との連携強化	自主	通年	地域の美術館・ギャラリーや美術大学等との人的交流を図ることから、将来的な連携企画等へと繋げて行く準備を行うなか、今年度は、各美術館学芸員との交流会や、地域でのアートイベントへの参加、各美術大学への訪問による教授陣との情報交換等に取り組みました。
---	----------	----	----	--

(6) 広報・普及活動、美術資料室の運営等

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	広報手段の拡充	自主	通年	各展覧会への来館促進を図るため、従来のポスター・案内はがき・チラシの送付、ホームページでの展覧会情報の公開に加え、地域向けメディアへの積極的アプローチや未利用の情報掲載可能なホームページへの情報発信を行い、広報手段の拡充を行いました。 また、SNS等の活用など時流に合わせた広報活動の準備を進めました。
2	配布先拡大と効果の検証	自主	通年	ポスター・案内はがき・チラシの送付先を一律ではなく、展覧会の企画内容に応じて増加・変更し、広報の効率化を図りました。また来館者アンケートによる効果の検証を行いました。
3	収蔵環境の整備	自主	通年	所蔵品の管理を徹底するため、展示、収蔵環境の改善を図りました。 今年度は展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、収蔵庫については庫内を整備し、文化財IPM(総合的有害生物管理)を採り入れ定期的な害虫測定を行い、虫害発生箇所の清掃・定期点検を行いました。
4	美術資料室の運営	自主	通年	本年は小貫政之助の作品224点、倉田三郎に関する資料、棟方末華に関する資料について寄贈を受けました。 また、多摩地域の美術に関する美術作品および図書資料を、を引続き収集しました。

(7) 事業計画外の活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
—	美術教育普及に関する外部研修への参加	自主	通年	大学や美術館主催の美術教育に関する事例発表会や講座に参加しました。 国公立市立小・中学校合同授業研究会に講師として協力しました。
—	〃武蔵野、研究一〇〇年 武蔵野文化協会主催事業	共催	11月28日(火) ～12月10日(日)	共催事業として、「武蔵野文化協会」の創立100周年記念展覧会を開催し、会場貸出・棟方末華作品4 点の貸出・展示補助等を行い、展覧会開催に協力しました。

2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業

(定款第4条第1項第2号、第3号、第4号、第8号)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

① 『多摩のあゆみ』の定例発行

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	発行部数 (部)
	事業名	自主・共催	発行日	事業内容及び説明	
1	166号 「郊外行楽地と多摩」	自主	5月15日(月)	大正中期以降、郊外へ出向いて日帰りで遊ぶことが人びとの娯楽になっていきました。大都市東京が形成されていくなか、鉄道会社は沿線の花見や名所旧跡を宣伝し、ハイキング路・キャンプ場などを整備して、旅客誘致に努めました。本号では、戦前から戦後にかけての多摩各地の行楽地の様子を紹介しました。	14,000
2	167号 「多摩の化石」	自主	8月15日(火)	哺乳類や鳥類、貝類、植物などの化石でなく、動物の足跡などの生活痕の化石の研究も踏まえ、多摩の鮮新世から更新世にかけての自然環境や生物の生態についてを、考察、紹介しました。	14,000
3	168号 「江戸時代の日記を紐解く」	自主	11月15日(水)	江戸時代は農民も日記を書き記す習慣が広まり、武家の日記とともに残されています。多摩地域でも多くの日記が翻刻・刊行されて、読むことができます。日記は読む者の関心によって、いろいろな事象を解き明かしてくれます。本号では、村の陰陽師、伊勢参宮、日記の代筆者、村の文化活動、八王子千人同心の上洛などを紹介しました。	14,000
4	169号 「デジタル地図でみる多摩の歴史」	自主	平成30年 2月15日(木)	最新の歴史地理学の研究方法である「歴史地理情報システム」による、多摩地域の考古学や歴史学の研究成果やデータベース、全国の研究の状況を紹介しました。	14,000

② 誌面の更新

1	誌面の更新	自主	5月～	166号(平成29年5月発行)より「多摩の金融史」の連載を開始しました。今年度は169号まで4回連載をしました。
---	-------	----	-----	--

(2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	利用料 (円)	閲覧者数 (人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	歴史資料室の運営	自主	通年 (月・祝・年末年始を除く)	平成29年度は、図書615冊、雑誌309冊、絵葉書7枚、地図83枚、チラシ16枚、ポスター102枚、の合計1,132点を収集・整理しました。 今期末現在で図書25,885冊、雑誌14,809冊、絵葉書6,104枚、地図1,776枚、チラシ515枚、ポスター1,595枚を公開しています。	無料	閲覧者 用紙 記入者数 541
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	平成29年度・ 30年度・31年度	国土地理院の旧版地形図が平成28年度からモノクロでなくカラーで入手できるようになりました。 そこで明治期から平成期にかけての2万5千分1地形図をはじめ、1万分1地形図と5万分1地形図、 合計175点を平成29年度より3ヶ年計画で収集を開始しました。 平成29年度は多摩東部から中部の2万5千分の1地形図60点を入手しました。		

(3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日	事業内容及び説明	
1	第21回多摩の歴史講座(1～5講) 武蔵武士団の盛衰 募集人数100名 応募人数205名(112名を当選とした) (公財)東京市町村自治調査会多摩交流 センターとの共催事業	共催	10月2日(月)	「武蔵武士団の誕生」 講師 鎌倉佐保(首都大学東京教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	102
			10月16日(月)	「考古学研究の立場から武蔵武士団をみる」 講師 浅野晴樹(埼玉県立嵐山史跡の博物館学芸員) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	90
			10月30日(月)	「板碑にみる武蔵武士」 講師 伊藤宏之(台東区教育委員会) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	88
			11月6日(月)	「南北朝期の武蔵武士団」 講師 田中大喜(国立歴史民俗博物館准教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	92
			11月20日(月)	「室町期の武蔵武士」 講師 湯浅治久(専修大学教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	91

(4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	東京都立多摩図書館イベント「現場探訪」に協力し、『多摩のあゆみ』や歴史資料室の紹介が行われました。 また今年度も市史編纂等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化を継続しています。

(5) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開しました。 また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』で告知しました。

② 『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化

1	『多摩のあゆみ』のデジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』創刊号から第100号が、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに全国50機関(図書館・博物館など)とともに、平成29年9月1日から公開しました。 平成29年9月から平成30年2月の、月平均総アクセス数は、12,200件でした。
---	---------------------	----	----	---

収益事業

3. 収1 物品販売及び喫茶事業

(定款第4条第1項第9号)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	売上高(円)	
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館ではオリジナル絵はがきの販売、御岳美術館ではオリジナル絵はがきの販売及び、多摩の作家の陶器、染物等みやげ品の委託販売をしました。	絵はがき /国立 /御岳 みやげ品 合計	23,400 18,500 90,710 132,610

(2)喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	売上高(円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	喫茶事業	自主	通年	御岳美術館で、コーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供しました。	70,050

3. 管理

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿

①評議員

(平成30年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
評議員	さいとう しんいち 齋藤 慎一	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古 文書学術調査団 委員
〃	うただ しんすけ 歌田 真介	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学 名誉教授
〃	おかの のりよ 岡野 法世	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	つくだ けんすけ 佃 堅輔	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	美術評論家 法政大学 名誉教授
〃	こまつ きん 小松 欽	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	さかつめ ひでいち 坂詰 秀一	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	おまた かつとし 小俣 勝俊	平成28年6月17日から平成32年6 月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(平成30年3月31日現在)

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ としろう 八木 敏郎	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 理事長
理 事	ひしやま ちゅうざぶろう 菱山 忠三郎	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	植物学者
〃	さえき ゆうこう 佐伯 有行	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	建物管理業
〃	おがわ とみちか 小川 富史	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	有限会社 吉不動産 代表取締役
〃	かわぐち てつお 川口 哲生	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	株式会社 川口商店 代表取締役
〃	むらの やすなり 村野 安成	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造所 代表社員
〃	わたひき こうじ 綿引 康司	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団 理事(非常勤)

③監事

(平成30年3月31日現在)

監 事	なかの たかみち 中野 隆右	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	NPO法人立川教育振興会 理事長
〃	おざわ のぶあき 小澤 伸光	平成28年6月17日から平成30年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1) 会議開催の状況

① 評議員会

開会年月日	件 名	会議結果
平成29年6月23日	第1号議案 「平成28年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	報告事項① 「平成28年度事業報告及び附属明細書」について	—
	報告事項② 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項③ 綿引業務執行理事の職務執行状況報告	—
平成30年3月16日	第1号議案 平成30年度事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 平成30年度収支予算(案)について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

②理事会

開会年月日	件 名	会議結果
平成29年6月9日	第1号議案 「平成28年度事業報告及び附属明細書の承認」について	可 決
	第2号議案 「平成28年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第3号議案 平成29年度定時評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
平成29年12月1日	第1号議案 「評議員の本理事会へのオブザーバー参加」について	可 決
	第2号議案 「美術館新設に伴う御岳美術館の閉館」について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
平成30年3月7日	第1号議案 平成30年度 事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 平成30年度 収支予算(案)について	可 決
	第3号議案 平成29年度第2回評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

4. 附属明細書

1. たましん歴史・美術館実績一覧

開館月		開館日数 (日)	入館者数 (人)	(有料)	(招待)	一日平均(人)
平成29年	4月	25	457	325	132	18.3
	5月	23	225	156	69	9.8
	6月	22	356	200	156	16.2
	7月	18	376	176	200	20.9
	8月	26	761	318	443	29.3
	9月	15	250	136	114	16.7
	10月	25	314	210	104	12.6
	11月	10	189	121	68	18.9
	12月	0	0	0	0	0.0
平成30年	1月	20	294	177	117	14.7
	2月	23	342	210	132	14.9
	3月	9	391	209	182	43.4
合 計		216	3,955	2,238	1,717	18.3

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	(有料) (招待)	一日 平均 (人)
小貫政之助展 —生きた時代の証言—	3月21日 ～ 6月25日	80	300	1,202	(778) (424)	15.0
五感でみるてんらんかい	7月11日 ～ 9月17日	59	100	1,387	(630) (757)	23.5
東洋古陶磁展 併設 たましんコレクション絵画展	10月3日 ～ 11月12日	35	100	503	(331) (172)	14.4
たましんコレクション展 (前期／後期)	平成30年1月6日 ～ 3月4日	47	100	701	(414) (287)	14.9
合 計		221		3,793	(2,153) (1,640)	17.2

2. 御岳美術館実績一覧

開館月		開館日数 (日)	入館者数 (人)	有料(人)	招待(人)	一日平均(人)
平成29年	4月	26	207	156	51	8.0
	5月	26	325	282	43	12.5
	6月	26	151	132	19	5.8
	7月	26	201	175	26	7.7
	8月	27	195	166	29	7.2
	9月	26	161	126	35	6.2
	10月	26	135	108	27	5.2
	11月	23	460	403	57	20.0
	12月	0	0	0	0	0.0
平成30年	1月	22	62	51	11	2.8
	2月	24	113	93	20	4.7
	3月	27	86	64	22	3.2
合 計		279	2,096	1,756	340	7.5

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	(有料) (招待)	一日 平均 (人)
あなただけの風景	前期 3月25日～11月26日	212	500	1,890	(1,598)	8.9
倉田三郎記念室 旅の素描 ―多摩―					(292)	
武者小路実篤と 白樺派の画家たち	後期 平成30年1月6日～ 3月31日	73	500	261	(208)	3.6
倉田三郎記念室 旅の素描 ―フランス―					(53)	
合 計		285		2,151	(1,806) (345)	7.5

3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数

多摩地域在住・在勤の作家やグループに、たましんギャラリーを展示会場として無償で提供しており、平成29年度は24会期の展示を実施しました。また、次世代の作家を育成する目的で新たに「たましん次世代支援プロジェクト」を実施しました。詳細は以下のとおりです。

展覧会名	会 期	来場者数(人)
1. 村田幽玄の世界展	3月30日 ～ 4月11日	203
2. 富永之廣展	4月13日 ～ 4月25日	383
3. 涌田利之・美江作品展	5月11日 ～ 5月23日	248
4. 松山俊彦展	5月25日 ～ 6月 6日	285
5. 小松欽展	6月 8日 ～ 6月20日	304
6. 河口聖展	6月22日 ～ 7月 4日	259
7. 橋本直一展	7月 6日 ～ 7月18日	341
8. 池山れい展	7月20日 ～ 8月 1日	230
9. 田中秀樹展	8月 3日 ～ 8月15日	248
10. 大山学展	8月17日 ～ 8月29日	230
11. 広瀬晴美展	8月31日 ～ 9月12日	442
12. 原田丕展	9月14日 ～ 9月26日	281
13. 坂本龍幸展	9月28日 ～ 10月10日	166
14. 武蔵野アートプロジェクト宮下泉展	10月12日 ～ 10月24日	206
15. 武蔵野アートプロジェクト清田悠紀子展	10月26日 ～ 11月 7日	312
16. 武蔵野アートプロジェクト立尾美寿紀展	11月 9日 ～ 11月21日	289
17. 武蔵野アートプロジェクト柴田俊明展	11月23日 ～ 12月 5日	281
18. 湯浅由美子展	12月 7日 ～ 12月19日	311
19. 三多摩美術家連盟展前期	平成30年1月11日 ～ 1月23日	647
20. 三多摩美術家連盟展後期	1月25日 ～ 2月 6日	539
21. 宏二郎展	2月 8日 ～ 2月20日	244
22. 女子美術大学洋画専攻3年「コンペティション」 受賞者展-あいつのきもちがきになるゼー	2月22日 ～ 3月 6日	243
23. 水野聰展	3月 8日 ～ 3月20日	459
24. 浜村博司展	3月22日 ～ 4月 3日	240
来場者合計		7,391

4. 職員に関する事項

平成30年3月31日現在

	職 務	氏 名	役職就任年月日	担 当 業 務	備 考
	館長	綿引 康司	平成27年6月15日	財団運営の統括	常勤
事務局	事務局長	木下 茂	平成22年1月20日	財団事務の統括	常勤
		箕輪 和代	—	財団事務	常勤
		畠山 恵子	—	財団事務	常勤
		佐々木 美知子	—	財団事務	非常勤
歴史資料室	室長	保坂 一房	平成20年4月1日	郷土誌編集・歴史資料の整理	常勤
	係長	坂田 宏之	平成23年4年1日	郷土誌編集・歴史資料の整理	常勤
		宮崎 紀子	—	歴史資料の整理	非常勤
		岩崎 冴子	—	歴史資料の整理	非常勤
美術資料室		杉本 藍	—	美術館・ギャラリー関係 学芸員	常勤
		藤森 梨衣	—	美術館・ギャラリー関係 学芸員	常勤
		中澤 富士雄	—	美術館・ギャラリー関係 学芸員	非常勤
		関口 利枝	—	ギャラリー事務	非常勤
		大野 好美	—	美術館事務	非常勤
		衛藤 愛子	—	美術館事務	非常勤
		須藤 好	—	美術館事務	非常勤
御岳美術館		森谷 隆男	—	美術館事務	非常勤
		酒井 まつ子	—	美術館事務	非常勤
		小峰 むつ子	—	美術館事務	非常勤
		杉山 芳枝	—	美術館事務	非常勤
		斉藤 良美	—	美術館事務	非常勤

貸 借 対 照 表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	785,952	717,500	68,452
現金	785,952	717,500	68,452
預金	15,314,251	13,900,867	1,413,384
普通預金	11,714,251	7,900,867	3,813,384
定期預金	2,400,000	4,800,000	△ 2,400,000
定期積金	1,200,000	1,200,000	0
棚卸資産	2,500,873	2,542,725	△ 41,852
書籍	732,517	750,839	△ 18,322
絵はがき	1,383,356	1,406,886	△ 23,530
テレフォンカード	385,000	385,000	0
前払費用	148,960	148,960	0
未収金	7,261	14,269	△ 7,008
流動資産合計	18,757,297	17,324,321	1,432,976
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	180,000,000	180,000,000	0
公社債	100,000,000	100,000,000	0
出資金	30,000,000	30,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	21,169,345	21,169,345	0
不動産(建物)	4,293,528	4,765,292	△ 471,764
基本財産合計	854,680,973	855,152,737	△ 471,764
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,780,000	4,440,000	340,000
修繕引当資産	24,410,000	24,410,000	0
特定資産合計	29,190,000	28,850,000	340,000
(3) その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	798,611	1,202,302	△ 403,691
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	280,000	260,000	20,000
その他固定資産合計	1,369,812	1,753,503	△ 383,691
固定資産合計	885,240,785	885,756,240	△ 515,455
資産の部合計	903,998,082	903,080,561	917,521
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	445,407	449,050	△ 3,643
未払金	1,481,849	761,793	720,056
賞与引当金	980,000	970,000	10,000
流動負債 合計	2,907,256	2,180,843	726,413
2 固定負債			
退職給付引当金	4,780,000	4,440,000	340,000
固定負債合計	4,780,000	4,440,000	340,000
負債の部合計	7,687,256	6,620,843	1,066,413
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	844,680,973	845,152,737	△ 471,764
(うち基本財産への充当額)	(844,680,973)	(845,152,737)	(△ 471,764)
2 一般正味財産	51,629,853	51,306,981	322,872
(うち基本財産への充当額)	(10,00,0000)	(10,00,0000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(24,410,000)	(24,410,000)	(0)
正味財産の部合計	896,310,826	896,459,718	△ 148,892
負債及び正味財産合計	903,998,082	903,080,561	917,521

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,213,000	1,240,005	△27,005
基本財産運用益	313,000	340,005	△27,005
基本財産受取配当金	900,000	900,000	0
特定資産運用益	5,765	8,433	△2,668
特定資産運用益	5,765	8,433	△2,668
固定資産受贈益	491,764	553,600	△61,836
固定資産受贈益	20,000	30,000	△10,000
固定資産受贈益振替分	471,764	523,600	△51,836
事業収益	1,454,908	1,239,037	215,871
入館料収益	1,158,800	942,400	216,400
図録販売収益	51,000	32,000	19,000
出版事業収益	42,448	40,717	1,731
喫茶事業収益	70,050	93,900	△23,850
物品販売収益	132,610	130,020	2,590
受取寄付金	60,000,000	60,000,000	0
受取寄付金	60,000,000	60,000,000	0
雑収益	300,799	96,254	204,545
受取利息	3,125	3,504	△379
雑収益	297,674	92,750	204,924
経常収益計	63,466,236	63,137,329	328,907
(2) 経常費用			
事業費	59,122,030	60,225,610	△1,103,580
売上原価	41,852	42,672	△820
給料手当	15,493,450	18,341,840	△2,848,390
臨時雇賃金	7,957,549	5,687,160	2,270,389
賞与引当金繰入	980,000	970,000	10,000
退職給付費用	340,000	440,000	△100,000
法定福利費	2,686,585	3,379,237	△692,652
福利厚生費	304,542	368,039	△63,497
旅費交通費	1,235,736	1,032,306	203,430
通信運搬費	2,082,229	1,977,377	104,852
減価償却費	910,258	1,065,930	△155,672
消耗什器備品費	289,744	421,956	△132,212
消耗品費	1,265,855	932,423	333,432
修繕費	166,730	834,840	△668,110
印刷製本費	9,747,571	9,481,973	265,598
燃料費	35,685	31,661	4,024
光熱水料費	2,026,563	1,996,409	30,154
賃借料	2,477,947	2,127,773	350,174
保険料	1,028,930	1,531,213	△502,283
諸謝金	940,362	827,055	113,307
保守管理費	1,770,400	1,771,912	△1,512
会議費	92,753	70,997	21,756
支払負担金	200,000	200,000	0
図書費	687,597	155,330	532,267
委託費	5,867,614	4,203,256	1,664,358
研修費	57,639	131,524	△73,885
宣伝費	10,000	5,000	5,000
仕入費	104,139	75,563	28,576

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	310,900	267,700	43,200
雑費	9,400	19,464	△10,064
退職金	0	1,835,000	△1,835,000
管理費	4,021,334	3,433,867	587,467
役員報酬	448,200	461,050	△12,850
給料手当	480,000	280,000	200,000
臨時雇賃金	136,320	0	136,320
法定福利費	63,109	54,389	8,720
福利厚生費	85,442	116,708	△31,266
会議費	414,106	412,703	1,403
旅費交通費	94,485	85,211	9,274
通信運搬費	273,093	282,821	△9,728
減価償却費	103,851	101,682	2,169
消耗什器備品費	82,642	59,378	23,264
消耗品費	333,242	158,967	174,275
修繕費	15,992	0	15,992
印刷製本費	23,707	33,752	△10,045
燃料費	8,918	13,565	△4,647
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	254,596	144,118	110,478
保険料	17,240	26,917	△9,677
租税公課	75,600	71,600	4,000
保守管理費	72,000	72,000	0
図書費	0	6,200	△6,200
研修費	35,360	46,555	△11,195
交際費	167,793	199,981	△32,188
委託費	375,794	348,026	27,768
諸会費	384,780	384,780	0
雑費	3,064	1,464	1,600
経常費用計	63,143,364	63,659,477	△516,113
評価損益等調整前当期経常増減額	322,872	△522,148	845,020
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	322,872	△522,148	845,020
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	322,872	△522,148	845,020
一般正味財産期首残高	51,306,981	51,829,129	△522,148
一般正味財産期末残高	51,629,853	51,306,981	322,872
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	471,764	523,600	△51,836
一般正味財産への振替額	471,764	523,600	△51,836
当期指定正味財産増減額	△471,764	△523,600	51,836
指定正味財産期首残高	845,152,737	845,676,337	△523,600
指定正味財産期末残高	844,680,973	845,152,737	△471,764
III 正味財産期末残高	896,310,826	896,459,718	△148,892

正味財産増減計算書内訳表
平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位: 円)

勘 定 科 目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計	収 1			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	1,213,000	1,213,000	0	0	0	1,213,000
基本財産運用益	0	0	313,000	313,000	0	0	0	313,000
基本財産受取配当金	0	0	900,000	900,000	0	0	0	900,000
特定資産運用益	0	0	5,765	5,765	0	0	0	5,765
特定資産運用益	0	0	5,765	5,765	0	0	0	5,765
固定資産受贈益	463,459	0	0	463,459	28,305	0	0	491,764
固定資産受贈益	20,000	0	0	20,000	0	0	0	20,000
固定資産受贈益振替分	443,459	0	0	443,459	28,305	0	0	471,764
事業収益	1,209,800	42,448	0	1,252,248	202,660	0	0	1,454,908
入館料収益	1,158,800	0	0	1,158,800	0	0	0	1,158,800
図録販売収益	51,000	0	0	51,000	0	0	0	51,000
出版事業収益	0	42,448	0	42,448	0	0	0	42,448
喫茶事業収益	0	0	0	0	70,050	0	0	70,050
物品販売収益	0	0	0	0	132,610	0	0	132,610
受取寄付金	0	0	55,500,000	55,500,000	0	4,500,000	0	60,000,000
受取寄付金	0	0	55,500,000	55,500,000	0	4,500,000	0	60,000,000
雑収益	16,200	69,000	67,805	153,005	0	147,794	0	300,799
受取利息	0	0	3,125	3,125	0	0	0	3,125
雑収益	16,200	69,000	64,680	149,880	0	147,794	0	297,674
経常収益計	1,689,459	111,448	56,786,570	58,587,477	230,965	4,647,794	0	63,466,236
(2) 経常費用								
事業費	31,249,089	27,573,620	0	58,822,709	299,321	0	0	59,122,030
売上原価	6	18,316	0	18,322	23,530	0	0	41,852
給料手当	6,647,460	8,845,990	0	15,493,450	0	0	0	15,493,450
臨時雇賃金	6,197,527	1,662,218	0	7,859,745	97,804	0	0	7,957,549
賞与引当金繰入	540,000	440,000	0	980,000	0	0	0	980,000
退職給付費用	50,000	290,000	0	340,000	0	0	0	340,000
法定福利費	1,135,661	1,550,924	0	2,686,585	0	0	0	2,686,585
福利厚生費	206,179	98,363	0	304,542	0	0	0	304,542
旅費交通費	917,014	318,722	0	1,235,736	0	0	0	1,235,736
通信運搬費	982,847	1,099,382	0	2,082,229	0	0	0	2,082,229
減価償却費	744,323	137,630	0	881,953	28,305	0	0	910,258
消耗什器備品費	214,901	74,843	0	289,744	0	0	0	289,744
消耗品費	848,983	416,872	0	1,265,855	0	0	0	1,265,855
修繕費	144,840	21,890	0	166,730	0	0	0	166,730
印刷製本費	1,990,638	7,756,933	0	9,747,571	0	0	0	9,747,571
燃料費	24,536	11,149	0	35,685	0	0	0	35,685
光熱水料費	1,797,171	206,000	0	2,003,171	23,392	0	0	2,026,563
賃借料	2,097,007	361,168	0	2,458,175	19,772	0	0	2,477,947
保険料	1,004,008	21,547	0	1,025,555	3,375	0	0	1,028,930
諸謝金	55,685	884,677	0	940,362	0	0	0	940,362
保守管理費	1,543,396	206,000	0	1,749,396	21,004	0	0	1,770,400
会議費	66,575	26,178	0	92,753	0	0	0	92,753
支払負担金	200,000	0	0	200,000	0	0	0	200,000
図書費	102,368	585,229	0	687,597	0	0	0	687,597
委託費	3,514,125	2,353,489	0	5,867,614	0	0	0	5,867,614
研修費	57,639	0	0	57,639	0	0	0	57,639
宣伝費	5,000	5,000	0	10,000	0	0	0	10,000
仕入費	22,000	0	0	22,000	82,139	0	0	104,139
諸会費	132,200	178,700	0	310,900	0	0	0	310,900
雑費	7,000	2,400	0	9,400	0	0	0	9,400
管理費	0	0	0	0	0	4,021,334	0	4,021,334
役員報酬	0	0	0	0	0	448,200	0	448,200
給料手当	0	0	0	0	0	480,000	0	480,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	136,320	0	136,320
法定福利費	0	0	0	0	0	63,109	0	63,109
福利厚生費	0	0	0	0	0	85,442	0	85,442
会議費	0	0	0	0	0	414,106	0	414,106
旅費交通費	0	0	0	0	0	94,485	0	94,485
通信運搬費	0	0	0	0	0	273,093	0	273,093
減価償却費	0	0	0	0	0	103,851	0	103,851
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	82,642	0	82,642
消耗品費	0	0	0	0	0	333,242	0	333,242
修繕費	0	0	0	0	0	15,992	0	15,992
印刷製本費	0	0	0	0	0	23,707	0	23,707
燃料費	0	0	0	0	0	8,918	0	8,918
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	254,596	0	254,596
保険料	0	0	0	0	0	17,240	0	17,240
租税公課	0	0	0	0	0	75,600	0	75,600
保守管理費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
研修費	0	0	0	0	0	35,360	0	35,360
交際費	0	0	0	0	0	167,793	0	167,793
委託費	0	0	0	0	0	375,794	0	375,794
諸会費	0	0	0	0	0	384,780	0	384,780
雑費	0	0	0	0	0	3,064	0	3,064
経常費用計	31,249,089	27,573,620	0	58,822,709	299,321	4,021,334	0	63,143,364
評価損益等調整前当期経常増減額	△29,559,630	△27,462,172	56,786,570	△235,232	△68,356	626,460	0	322,872
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△29,559,630	△27,462,172	56,786,570	△235,232	△68,356	626,460	0	322,872
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								

正味財産増減計算書内訳表
平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計	取 1			
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△29,559,630	△27,462,172	56,786,570	△235,232	△68,356	626,460	0	322,872
一般正味財産期首残高	△118,170,740	△149,248,659	307,483,639	40,064,240	2,229,234	9,013,507	0	51,306,981
一般正味財産期末残高	△147,730,370	△176,710,831	364,270,209	39,829,008	2,160,878	9,639,967	0	51,629,853
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	443,459	0	0	443,459	28,305	0	0	471,764
一般正味財産への振替額	443,459	0	0	443,459	28,305	0	0	471,764
当期指定正味財産増減額	△443,459	0	0	△443,459	△28,305	0	0	△471,764
指定正味財産期首残高	543,596,657	0	300,000,000	843,596,657	1,556,080	0	0	845,152,737
指定正味財産期末残高	543,153,198	0	300,000,000	843,153,198	1,527,775	0	0	844,680,973
III 正味財産期末残高	395,422,828	△176,710,831	664,270,209	882,982,206	3,688,653	9,639,967	0	896,310,826

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	180,000,000	0	0	180,000,000
公社債（日本政策金融公庫債）	100,000,000	0	0	100,000,000
出資金（多摩信用金庫）	30,000,000	0	0	30,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	0	21,169,345
建物	4,765,292	0	471,764	4,293,528
小 計	855,152,737	0	471,764	854,680,973
特定資産				
退職給付引当資産	4,440,000	340,000	0	4,780,000
修繕引当資産	24,410,000	0	0	24,410,000
小 計	28,850,000	340,000	0	29,190,000
合 計	884,002,737	340,000	471,764	883,870,973

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	180,000,000	(170,000,000)	(10,000,000)	(0)
公社債（日本政策投資銀行債）	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
出資金（多摩信用金庫）	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
美術品	519,218,100	(519,218,100)	(0)	(0)
土地	21,169,345	(21,169,345)	(0)	(0)
建物	4,293,528	(4,293,528)	(0)	(0)
小 計	854,680,973	(844,680,973)	(10,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,780,000	(0)	(0)	(4,780,000)
修繕引当資産	24,410,000	(0)	(24,410,000)	(0)
小 計	29,190,000	(0)	(24,410,000)	(4,780,000)
合 計	883,870,973	(844,680,973)	(34,410,000)	(4,780,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	55,140,074	50,846,546	4,293,528
什器備品	3,355,708	2,557,097	798,611
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合 計	59,005,032	53,912,892	5,092,140

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
株式会社日本政策金融公庫第34回社債	100,000,000	100,020,000	20,000
合 計	100,000,000	100,020,000	20,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	471,764
合 計	471,764

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	970,000	980,000	970,000	0	980,000
退職給付引当金	4,440,000	340,000	0	0	4,780,000

財 産 目 録

平成30年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金				785,952
現金		手元保管		785,952
預金			運転資金として	15,314,251
普通預金				11,714,251
多摩信用金庫国立支店	多摩信用金庫国立支店	普通預金	運転資金として	6,300,940
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店	普通預金	運転資金として	5,413,311
定期預金				2,400,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店	定期預金	運転資金として	2,400,000
定期積金				1,200,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店	定期積金	運転資金として	1,200,000
棚卸資産				2,500,873
書籍		たましん歴史・美術館、御岳美術館	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の在庫である。	732,517
絵はがき		たましん歴史・美術館、御岳美術館	収1[物品販売及び喫茶事業]の在庫である。	1,383,356
テレフォンカード		御岳美術館	収1[物品販売及び喫茶事業]の在庫である。	385,000
前払費用		全国公益法人協会 多摩新興(株)	法人の管理運営の用に関わる会費である。45,360円 公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での御岳美術館の入館者のための傷害保険料である。103,600円 公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。	148,960
未収金		地方小出版流通センターほか		7,261
流動資産合計				18,757,297
(固定資産)				
基本財産				
定期預金		多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。	180,000,000
公社債		日本政策金融公庫債	同上	100,000,000
出資金		多摩信用金庫出資金	同上	30,000,000
美術品(基本)		御岳美術館、武蔵野收藏庫、国立收藏庫全3,815点。	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	519,218,100
不動産(土地)		青梅市御岳本町1-1 434.08㎡ 同所同番6 57.91㎡ 合計 491.99㎡	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、同じ比率で按分している。	21,169,345
不動産(建物)		青梅市御岳本町1-1及び1-6 木・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ銅版ぶき3階建て 1階 83.16㎡ 2階 230.59㎡ 3階 142.43㎡ 合計 456.18㎡	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、同じ比率で按分している。	4,293,528
特定資産				
退職給付引当資産		多摩信用金庫国立支店 定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	4,780,000
修繕引当資産		青梅信用金庫中町支店 定期預金	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」建物にかかる修繕の財源として管理している。	24,410,000
その他固定資産				
電話加入権		042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
什器備品		パソコン、エアコンほか	(共用財産)	798,611
ソフトウェア		会計ソフト	公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産である。	1
美術品(その他)		国立收藏庫 全28点	法人の管理運営の用に供している財産である。 公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	280,000
固定資産合計				885,240,785
資産合計				903,998,082
(流動負債)				
預り金		職員	源泉所得税。98,840円 社会保険料。223,267円 地方税(住民税)。81,300円 互助会費。42,000円	445,407
未払金		(株)ダスキン	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのリース代金(賃借料)である。11,016円	1,481,849
		(株)エムビーエー	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での図書管理システム使用料に関する委託費である。41,040円	
		(株)ケーズ	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での新聞購読料(図書費)である。4,037円	
		エムワイウェブ(株)	公益目的事業及び管理目的の業務の用に供するインターネットウェブサイトの更新料金(委託費)である。27,000円	
		NTTファイナンス(株)	公益目的事業及び管理目的の業務の用に供する電話料金(通信運搬費)である。50,554円	
		セコム(株)	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での警備保守代金(保守管理費)である。210,600円	
		職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の2月分の社会保険料である。341,124円	
		職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の3月	

財 産 目 録
平成30年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	賞与引当金	職員	分の賃金である。 706,964円	980,000
		職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事する職員の3月分の交通費である。 50,125円	
		職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の3月分の食事代補助費である。 14,000円	
		職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の3月出張旅費精算金である。 25,389円 公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	
流動負債合計 (固定負債)				2,907,256
	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	4,780,000
固定負債合計				4,780,000
負債合計				7,687,256
正味財産				896,310,826